

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えをもつ場【拡散的思考】	①	世界と日本の地域構成について捉える。	A ・資料を基に、世界と日本の地域構成、世界各地の人々と生活環境に関わる基本的な事項をまとめ、地域の特色を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
	②	世界各地の人々と生活環境について捉える。				
	③	地域の特色を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】 追究課題「より生活しやすい地域はどちらか」 切り口A「暑い地域」 切り口B「寒い地域」	B ・資料を基に、世界と日本の地域構成、世界各地の人々と生活環境に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
考えを広げる場【拡散的思考】	④	「暑い地域」の生活が、働く人と住む人に及ぼす影響について捉える。	生活のしやすさにつながる点(☆)・つながらない点(★)			
			働く人の立場		住む人の立場	
			暑い地域	☆マレーシアでは、ゴムやアブラヤシの大規模な農園を営んでいる。 ☆フィジーでは、珊瑚礁による美しい自然を生かして観光業を行っている。 ★過度な観光開発によって、珊瑚礁やマングローブが破壊される問題が起こっている。 ★マレーシアでは、熱帯雨林の木々がどんどん伐採され、生活に必要な果物や野菜がとれなくなった。	☆マレーシアの高床式の家屋は、風通しが良く暑さや湿度がこもらず、虫や動物を避けるために工夫されている。 ☆フィジーでは、タロイも、キャッサバ、ヤムイもなどの栽培をしており、自給自足の生活をしている。 ★一年を通して気温が高く、午後からはスコールとよばれる激しい雨が降り、災害を引き起こす可能性がある。 ★熱帯の地域では、カヤハエなどを媒介して感染症が流行しやすい。	
	⑤	「寒い地域」の生活が、働く人と住む人に及ぼす影響について捉える。	寒い地域		☆カナダ北部に住んでいるイヌイットの人々は、村や都市で仕事をしながら、休日などに狩りや漁業をしている。 ☆ロシアのイルクーツクでは、アイスホッケーやクロスカントリー、バイカル湖でのつりが楽しめるなど気候を生かした娯楽業がある。 ★寒帯の地域では、気温が低く降水量が少ないので、樹木が育たず農業には不向きである。 ★シベリアのタイガでは森林伐採が深刻で、伐採跡地は沼地となり森林再生が不可能になった。	☆シベリアの家屋は、太い丸太を組み合わせたログハウスが多く、窓は頑丈な二重窓、玄関の扉は厚い木で作られており、寒い冬を乗り越える工夫がされている。 ☆マイナス50度の寒い地域では、ウイルスが生存することができず、感染病にかかるリスクは少ない。 ★近年の温暖化により、永久凍土の土が解け出して、建物がゆがんだりするなどの問題が起こっている。 ★水道管が凍結してしまうため、水道が使えず村に給水車が来て供給するため、不便である。
			⑥	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	方法 ○発言の内容(④・⑤) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容
	⑦	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、働く人と住む人の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。		
	考えを創り上げる場【収束的思考】	⑧	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どのような地域であれば、生活しやすい地域といえるか」について考える。 【RM①】 概念的知識「働く人にとって働きやすい環境があり、住む人にとって安心して暮らしが送ることができれば生活しやすい地域であるといえる」	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口A「暑い地域」を選んだ生徒の主張例 ・フィジーは、働く人にとって、珊瑚礁による美しい自然を生かした観光業を行っており働きやすい環境が整っている。また、住む人にとって、タロイも、キャッサバ、ヤムイもなどの栽培を自給自足で行っており、安心した暮らしを送ることができる。 切り口A「暑い地域」の主張に対する反論例 ・過度な観光開発によって、珊瑚礁やマングローブが破壊されるといった環境問題が起こっている。 切り口A「暑い地域」を選んだ生徒の再反論例 ・フィジー政府は、外資の開発業者に対して、珊瑚礁やマングローブを破壊しているとして、開発の中断を要求している。政府は「制限されて保護されるべき」と打ち出しており、観光と環境の両立を図ろうとしている。 切り口A「暑い地域」を選んだ生徒の最終的な主張例 ・切り口Bは、働く人にとって、寒帯の地域では気温が低く降水量が少ないので、樹木が育たず農業には不向きであり働きやすい環境とは言えない。また、住む人にとって、水道管が凍結してしまうため、水道が使えず給水車による給水といった不便な生活を強いられるため安心して暮らしができない。それに比べ、切り口Aは、フィジーにおいて、働く人にとって、珊瑚礁による美しい自然を生かした観光業は魅力的であり、フィジー政府の環境への配慮も考えられており、働きやすい環境である。また、住む人は、タロイも、キャッサバ、ヤムイもなどの栽培を自給自足で行っており、安心した暮らしを送ることができる。		
⑨				【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。
⑩		概念的知識を他の地域に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】 単元テストを行う。	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	
			⑪	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑧・⑨) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
考えをもつ場【拡散的思考】	①	アジア州の自然環境や地域区分、産業などをまとめ、アジア州について大観する。	A ・資料を基に、アジア州に関わる基本的な事項をまとめ、地域の特色を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。									
	②	地域の特色を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】				B ・資料を基に、アジア州に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。						
		追究課題「アジア州の中で、今後最も経済成長する地域はどこか」 切り口A「東アジア・東南アジア」 切り口B「南アジア・西アジア・中央アジア」				方法 ○発言の内容(①) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(②) ○「ステップチャート」の記述内容						
考えを広げる場【拡散的思考】	③	「東アジア・東南アジア」の経済が、地域内と地域外に及ぼす影響について捉える。	身に付けさせたい知識の例 経済成長につながる点(☆)・つながらない点(★) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>地域内の立場</th> <th>地域外の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東・東南アジア</td> <td>☆中国では、工業化が進展し一人あたりの平均年収の増加や自動車や電化製品の普及率の高まりなどの生活水準の向上が見られる。 ☆ASEANと東アジア諸国がFTAを締結するなど地域内での結び付きを強め、協力して経済成長していくとする姿が見られる。 ★北朝鮮でのミサイル開発や、日本と近隣諸国の領土問題などによっての対立関係が深まっている。 ★タイでアジア最大級のスラム街が形成され経済格差が広がっている。</td> <td>☆欧米諸国は、中国製品の輸入の割合を増加させたり、日本の自動車産業の企業などの海外進出が増えたりしている。 ☆欧米諸国は、コーヒーやエビなどの輸入先の割合で東南アジアが高かったり、国別投資で上位を占めたりしている。 ★欧米諸国が中国製の食料品の輸出規制を強化したり、投資やコストの削減をしたりしている。 ★海外企業にとって、法整備が整っていないミャンマーは進出の障壁となっていたり、マラッカ海峡での海賊行為により貿易ができなかったりする。</td> </tr> <tr> <td>南・西・中央アジア</td> <td>☆インドでは自動車の生産台数や販売台数が急激に増加しており、都市部では雇用の増加や賃金の上昇などによって生活水準が向上している。 ☆西・中央アジアでは、豊富な鉱産資源の輸出によって、国民から税金を徴収しなかったり、インフラを無料で提供したりしている。 ★インドではカースト制度の影響が残っていたり、南アジアの農村部ではサイクロンによる被害が深刻化したりしており、経済格差が広がっている。 ★西・中央アジアでは、宗教・宗派や民族の違いによる紛争が多発しており、多くの難民が発生するなど国内情勢が不安定になっている。</td> <td>☆世界中のIT企業が、優秀な人材を求めて、数学教育に力を入れているインドに拠点を置いたり、仕事を請け負わせたりしている。 ☆日本などの地域外の国々は、西アジアの豊富な石油資源に輸入を依存していたり、レアメタルの有望な産地として中央アジアを注目したりしている。 ★海外企業は、賃金が高額なインドから撤退したり、バングラデシュなど識字率が低い国では、肉体労働以外の需要がない。 ★海外企業は、宗教・宗派や民族の違いによる紛争が各地で多発している西・中央アジアから撤退している。</td> </tr> </tbody> </table>		地域内の立場	地域外の立場	東・東南アジア	☆中国では、工業化が進展し一人あたりの平均年収の増加や自動車や電化製品の普及率の高まりなどの生活水準の向上が見られる。 ☆ASEANと東アジア諸国がFTAを締結するなど地域内での結び付きを強め、協力して経済成長していくとする姿が見られる。 ★北朝鮮でのミサイル開発や、日本と近隣諸国の領土問題などによっての対立関係が深まっている。 ★タイでアジア最大級のスラム街が形成され経済格差が広がっている。	☆欧米諸国は、中国製品の輸入の割合を増加させたり、日本の自動車産業の企業などの海外進出が増えたりしている。 ☆欧米諸国は、コーヒーやエビなどの輸入先の割合で東南アジアが高かったり、国別投資で上位を占めたりしている。 ★欧米諸国が中国製の食料品の輸出規制を強化したり、投資やコストの削減をしたりしている。 ★海外企業にとって、法整備が整っていないミャンマーは進出の障壁となっていたり、マラッカ海峡での海賊行為により貿易ができなかったりする。	南・西・中央アジア	☆インドでは自動車の生産台数や販売台数が急激に増加しており、都市部では雇用の増加や賃金の上昇などによって生活水準が向上している。 ☆西・中央アジアでは、豊富な鉱産資源の輸出によって、国民から税金を徴収しなかったり、インフラを無料で提供したりしている。 ★インドではカースト制度の影響が残っていたり、南アジアの農村部ではサイクロンによる被害が深刻化したりしており、経済格差が広がっている。 ★西・中央アジアでは、宗教・宗派や民族の違いによる紛争が多発しており、多くの難民が発生するなど国内情勢が不安定になっている。	☆世界中のIT企業が、優秀な人材を求めて、数学教育に力を入れているインドに拠点を置いたり、仕事を請け負わせたりしている。 ☆日本などの地域外の国々は、西アジアの豊富な石油資源に輸入を依存していたり、レアメタルの有望な産地として中央アジアを注目したりしている。 ★海外企業は、賃金が高額なインドから撤退したり、バングラデシュなど識字率が低い国では、肉体労働以外の需要がない。 ★海外企業は、宗教・宗派や民族の違いによる紛争が各地で多発している西・中央アジアから撤退している。		
		地域内の立場		地域外の立場										
	東・東南アジア	☆中国では、工業化が進展し一人あたりの平均年収の増加や自動車や電化製品の普及率の高まりなどの生活水準の向上が見られる。 ☆ASEANと東アジア諸国がFTAを締結するなど地域内での結び付きを強め、協力して経済成長していくとする姿が見られる。 ★北朝鮮でのミサイル開発や、日本と近隣諸国の領土問題などによっての対立関係が深まっている。 ★タイでアジア最大級のスラム街が形成され経済格差が広がっている。		☆欧米諸国は、中国製品の輸入の割合を増加させたり、日本の自動車産業の企業などの海外進出が増えたりしている。 ☆欧米諸国は、コーヒーやエビなどの輸入先の割合で東南アジアが高かったり、国別投資で上位を占めたりしている。 ★欧米諸国が中国製の食料品の輸出規制を強化したり、投資やコストの削減をしたりしている。 ★海外企業にとって、法整備が整っていないミャンマーは進出の障壁となっていたり、マラッカ海峡での海賊行為により貿易ができなかったりする。										
	南・西・中央アジア	☆インドでは自動車の生産台数や販売台数が急激に増加しており、都市部では雇用の増加や賃金の上昇などによって生活水準が向上している。 ☆西・中央アジアでは、豊富な鉱産資源の輸出によって、国民から税金を徴収しなかったり、インフラを無料で提供したりしている。 ★インドではカースト制度の影響が残っていたり、南アジアの農村部ではサイクロンによる被害が深刻化したりしており、経済格差が広がっている。 ★西・中央アジアでは、宗教・宗派や民族の違いによる紛争が多発しており、多くの難民が発生するなど国内情勢が不安定になっている。		☆世界中のIT企業が、優秀な人材を求めて、数学教育に力を入れているインドに拠点を置いたり、仕事を請け負わせたりしている。 ☆日本などの地域外の国々は、西アジアの豊富な石油資源に輸入を依存していたり、レアメタルの有望な産地として中央アジアを注目したりしている。 ★海外企業は、賃金が高額なインドから撤退したり、バングラデシュなど識字率が低い国では、肉体労働以外の需要がない。 ★海外企業は、宗教・宗派や民族の違いによる紛争が各地で多発している西・中央アジアから撤退している。										
	④	「南アジア・西アジア・中央アジア」の経済が、地域内と地域外に及ぼす影響について捉える。												
	⑤	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】												
⑥	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、地域内と地域外の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。										
		B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。										
		方法 ○発言の内容(③・④) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑤・⑥) ○「ステップチャート」の記述内容										
考えを創り上げる場【収束的思考】	⑦	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば、地域の経済は成長するか」について考える。【RM①】 概念的知識「地域内で多くの利益を生み出すとともに、地域外からの需要があれば、その地域の経済は成長する」	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口B「南アジア・西アジア・中央アジア」を選んだ生徒の主張例 ・地域内は、西・中央アジアでは豊富な鉱産資源の輸出によって、多くの利益を生み出すことできる。地域外は、西アジアの豊富な石油資源や中央アジアのレアメタルに注目が集まり、需要が見込まれている。 切り口B「南アジア・西アジア・中央アジア」の主張に対する反論例 ・西アジア・中央アジアでは、紛争が多発し政権が不安定なこともあり、継続した貿易ができない可能性があり、需要があるとはいえない。 切り口B「南アジア・西アジア・中央アジア」を選んだ生徒の再反論例 ・今後、IT化がますます進展し、スマートフォンやパソコンの需要が伸びることが予想され、ますますレアメタルの必要性が出てくる。 切り口B「南アジア・西アジア・中央アジア」を選んだ生徒の最終的な主張例 ・切り口Aは、北朝鮮のミサイル問題や日本と近隣諸国の領土問題によって、地域内の対立関係により貿易に制限がかかり利益は減少する。地域外は、中国製の食料品や中国企業に信用がもたず欧米諸国が輸出規制をかけたことから需要があるとはいえない。それに比べ、切り口Bは、西・中央アジアの豊富な鉱産資源を輸出することにより地域内に多くの利益を生み出している。地域外においても、IT化の進展によりレアメタルに注目が集まり、多くの需要が見込まれている。											
	⑧	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを学級全体で議論する。												
	⑨	概念的知識を他の地域に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】 単元テストを行う。		A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。								
				B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。								
	⑩	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑨) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑦・⑧) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容									

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度										
考えをもつ場 【拡散的思考】	①	北アメリカ州の自然環境や産業などをまとめ北アメリカ州について大観する。	A ・資料を基に、北アメリカ州に関わる基本的な事項をまとめ、地域の特色を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
	②	地域の特色を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】				B ・資料を基に、北アメリカ州に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。							
		追究課題「世界の人々にとって欠かすことのできないアメリカの産業は何か」 切り口A「農業・飲食業」 切り口B「工業・ハイテク産業」	○発言の内容(①) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(②) ○「ステップチャート」の記述内容										
考えを広げる場 【拡散的思考】	③	「農業・飲食業」が、アメリカ国内とアメリカ国外に及ぼす影響について捉える。	世界の人々にとって欠かすことのできないと言える点(☆)・言えない点(★)												
	④	「工業・ハイテク産業」が、アメリカ国内とアメリカ国外に及ぼす影響について捉える。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】	身に付けさせたい知識の例	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>アメリカ国内の立場</th> <th>アメリカ国外の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業・飲食業</td> <td>☆広い土地やアグリビジネスを活用して、農畜産物を大量生産することができる。 ☆アメリカは大量消費社会なので、手軽に食べられるファストフードは生活に欠かせない。 ★中国など他の国・地域でも農畜産物は大量に生産されているため、売れなくなる可能性がある。 ★農場でかんがいを行い過ぎて、地下水の減少や塩害など、環境問題が起こっている。</td> <td>☆大豆やとうもろこし、小麦や牛肉など、アメリカから輸入する農畜産物は食生活に欠かせない。 ☆アメリカ発祥のファストフードは世界各国に浸透して手軽に利用でき、人々の生活を便利にしている。 ★アメリカの食品を輸入し過ぎると、それぞれの国の食文化や飲食店をつぶしてしまう。 ★農薬や遺伝子組み換え食品など、アメリカ産の農畜産物は安全性に問題がある。</td> </tr> <tr> <td>工業・ハイテク産業</td> <td>☆アメリカは以前から工業国であり、工業に従事している国民も多く、生活に欠かせない。 ☆ITなどの先端技術産業の技術は他の国から必要とされており、アメリカの収入源になっている。 ★他国の技術が上がってきており、工業はかつての自動車産業のように衰退する可能性がある。 ★アメリカの強引な外交の現状から、他国の標的になりやすく、アメリカに対するサイバー攻撃が心配される。</td> <td>☆大量消費社会のアメリカは、工業製品の輸出先として重要であり、多くの利益を上げることができる。 ☆情報社会の中で、アメリカのもつハイテク産業の技術は今後ますます必要になってくる。 ★自動車のように、日本など他国の方が品質が高く、工業製品はアメリカに頼る必要がない。 ★中国の企業「ファーウェイ」のように、アメリカ政府が外国との取引の制限を打ち出しており、アメリカと取引をすると損害を受ける可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>				アメリカ国内の立場	アメリカ国外の立場	農業・飲食業	☆広い土地やアグリビジネスを活用して、農畜産物を大量生産することができる。 ☆アメリカは大量消費社会なので、手軽に食べられるファストフードは生活に欠かせない。 ★中国など他の国・地域でも農畜産物は大量に生産されているため、売れなくなる可能性がある。 ★農場でかんがいを行い過ぎて、地下水の減少や塩害など、環境問題が起こっている。	☆大豆やとうもろこし、小麦や牛肉など、アメリカから輸入する農畜産物は食生活に欠かせない。 ☆アメリカ発祥のファストフードは世界各国に浸透して手軽に利用でき、人々の生活を便利にしている。 ★アメリカの食品を輸入し過ぎると、それぞれの国の食文化や飲食店をつぶしてしまう。 ★農薬や遺伝子組み換え食品など、アメリカ産の農畜産物は安全性に問題がある。	工業・ハイテク産業	☆アメリカは以前から工業国であり、工業に従事している国民も多く、生活に欠かせない。 ☆ITなどの先端技術産業の技術は他の国から必要とされており、アメリカの収入源になっている。 ★他国の技術が上がってきており、工業はかつての自動車産業のように衰退する可能性がある。 ★アメリカの強引な外交の現状から、他国の標的になりやすく、アメリカに対するサイバー攻撃が心配される。	☆大量消費社会のアメリカは、工業製品の輸出先として重要であり、多くの利益を上げることができる。 ☆情報社会の中で、アメリカのもつハイテク産業の技術は今後ますます必要になってくる。 ★自動車のように、日本など他国の方が品質が高く、工業製品はアメリカに頼る必要がない。 ★中国の企業「ファーウェイ」のように、アメリカ政府が外国との取引の制限を打ち出しており、アメリカと取引をすると損害を受ける可能性がある。
		アメリカ国内の立場	アメリカ国外の立場												
	農業・飲食業	☆広い土地やアグリビジネスを活用して、農畜産物を大量生産することができる。 ☆アメリカは大量消費社会なので、手軽に食べられるファストフードは生活に欠かせない。 ★中国など他の国・地域でも農畜産物は大量に生産されているため、売れなくなる可能性がある。 ★農場でかんがいを行い過ぎて、地下水の減少や塩害など、環境問題が起こっている。	☆大豆やとうもろこし、小麦や牛肉など、アメリカから輸入する農畜産物は食生活に欠かせない。 ☆アメリカ発祥のファストフードは世界各国に浸透して手軽に利用でき、人々の生活を便利にしている。 ★アメリカの食品を輸入し過ぎると、それぞれの国の食文化や飲食店をつぶしてしまう。 ★農薬や遺伝子組み換え食品など、アメリカ産の農畜産物は安全性に問題がある。												
	工業・ハイテク産業	☆アメリカは以前から工業国であり、工業に従事している国民も多く、生活に欠かせない。 ☆ITなどの先端技術産業の技術は他の国から必要とされており、アメリカの収入源になっている。 ★他国の技術が上がってきており、工業はかつての自動車産業のように衰退する可能性がある。 ★アメリカの強引な外交の現状から、他国の標的になりやすく、アメリカに対するサイバー攻撃が心配される。	☆大量消費社会のアメリカは、工業製品の輸出先として重要であり、多くの利益を上げることができる。 ☆情報社会の中で、アメリカのもつハイテク産業の技術は今後ますます必要になってくる。 ★自動車のように、日本など他国の方が品質が高く、工業製品はアメリカに頼る必要がない。 ★中国の企業「ファーウェイ」のように、アメリカ政府が外国との取引の制限を打ち出しており、アメリカと取引をすると損害を受ける可能性がある。												
⑤	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、アメリカ国内とアメリカ国外の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。											
		B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。											
		方法 ○発言の内容(③・④) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(④・⑤) ○「ステップチャート」の記述内容											
考えを創り上げる場 【収束的思考】	⑥	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば、世界の人々にとって欠かすことのできない産業と言えるか」について考える。【RM①】 概念的知識「地域的特色をいかして国内に利益をもたらす、国外から必要とされるものを生み出す産業が、世界の人々にとって欠かすことのできない産業と言える」	切り口B「工業・ハイテク産業」を選んだ生徒の主張例 ・国内は、鉱産資源が豊富という特色を生かして大量生産することで工業を発展させ多くの利益をもたらした。国外は、アメリカのもつハイテク産業の技術は、情報社会が進んでいくにつれて必要とされる。 切り口B「工業・ハイテク産業」の主張に対する反論例 ・近年、自動車は中国や日本の製品のように安価で質のよいものが売れるようになり、デトロイトのように街として衰退してしまい利益をもたらしているとはいえない。 切り口B「工業・ハイテク産業」を選んだ生徒の再反論例 ・ピッツバーグも鉄鋼業が衰退してしまった都市だが、鉄鋼業に代わってハイテク産業に切り替えることで経済の再生に成功した例もあり、工業の変化を見極めることで利益をもたらしている。 切り口B「工業・ハイテク産業」を選んだ生徒の最終的な主張例 ・切り口Aは、国内は中国など他の国・地域でも農畜産物は大量に生産されているため、売れなくなる可能性があるが利益はもたらされない。国外は農薬や遺伝子組み換え食品など、アメリカ産の農畜産物は安全性に問題があり買ってもらえず必要とされない。それに比べ、切り口Bは、国内はハイテク産業によって街を再興させ、宇宙産業など世界をリードしていることから利益をもたらす、国外は情報社会の中でアメリカのもつハイテク産業の技術は今後ますます必要になってくる。												
	⑦	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを学級全体で議論する。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
	⑧	概念的知識を他の地域に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】 単元テストを行う。	B ・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
	⑨	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	方法 ○発言の内容(⑧) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑥・⑦) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容										

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
考えをもつ場【拡散的思考】	①	ヨーロッパ州の自然環境や産業、EU統合の過程をまとめ、ヨーロッパ州を大観する。	・資料を基に、ヨーロッパ州に関わる基本的な事項をまとめ、地域の特色を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
	②	地域の特色を捉え、追究課題を確認する。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M①】	・資料を基に、ヨーロッパ州に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。									
		追究課題「EU存続に向けて最も力を入れて取り組むべき政策分野はどれか」 切り口A「経済面」 切り口B「社会面」	○発言の内容(①) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(②) ○「ステップチャート」の記述内容									
考えを広げる場【拡散的思考】	③	「経済面」に関わるEUの各政策が、加盟国と人々に及ぼす影響について捉える。	EU存続につながる点(☆)・つながらない点(★) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>加盟国の立場</th> <th>人々の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済面</td> <td> ☆貿易の自由化によって、加盟国間での貿易の活発化や域内産業の保護が進み、結び付きが強まっている。 ☆EU拠出金によって、経済水準が低い国は負担が少ない上に、支援を受けることができ、経済が安定化しやすくなる。 ★ユーロの導入によって、ギリシャの財政赤字から広まったユーロ危機のように、一か国の問題が加盟国間に波及しやすくなる。 ★共通農業政策によって、恩恵を受けている国はフランスなどごく一部の国となっており、拠出金の負担などにより経済格差が広がっている。 </td> <td> ☆共通農業政策の導入によって、主要農産物の域内自給が促進され、農家の所得が向上している。 ☆加盟国の企業による共同出資や技術協力によって、エアバスやアリアンロケットのように、先端技術産業が発展している。 ★貿易の自由化によって、東ヨーロッパでは、工業面で西ヨーロッパとの競争に勝てず、景気が不安定となっており、人々の生活が困窮している。 ★日本とのEPAを締結することによって、自動車産業の衰退により多くの失業者が生まれることが懸念されている。 </td> </tr> <tr> <td>社会面</td> <td> ☆欧州理事会の設置やEU法によって、安全保障に共同して対処したり、外交政策に共同して取り組んだりすることができる。 ☆地球温暖化や酸性雨などの環境問題に共同して取り組み、持続可能な社会をつくり出そうとしている。 ★共通移民政策によって、移民流入の増加に対応できなくなった結果、反移民・反EUを掲げる極右政党が欧州各国で躍進し、EUの空中分解が懸念されている。 ★EU法によって、加盟国は自主決定権がないため、移民や難民問題に対して独自に政策をたてて対処することができず、問題の解決が遅れる。 </td> <td> ☆共通移民政策によって、移民として受け入れてもらうことで、質の高い公共サービスを受けることができる。 ☆免許などの資格や製品の基準を統一することによって、どの国でも同様の生活をするができる。 ★共通移民政策によって、移民や難民の受け入れが増加している主要国では、雇用機会が減少し、失業者数が増加している。 ★シェンゲン協定によって、人の移動が自由となり、各地でテロの発生や治安の悪化などが起こり、生活への不安が生じている。 </td> </tr> </tbody> </table>				加盟国の立場	人々の立場	経済面	☆貿易の自由化によって、加盟国間での貿易の活発化や域内産業の保護が進み、結び付きが強まっている。 ☆EU拠出金によって、経済水準が低い国は負担が少ない上に、支援を受けることができ、経済が安定化しやすくなる。 ★ユーロの導入によって、ギリシャの財政赤字から広まったユーロ危機のように、一か国の問題が加盟国間に波及しやすくなる。 ★共通農業政策によって、恩恵を受けている国はフランスなどごく一部の国となっており、拠出金の負担などにより経済格差が広がっている。	☆共通農業政策の導入によって、主要農産物の域内自給が促進され、農家の所得が向上している。 ☆加盟国の企業による共同出資や技術協力によって、エアバスやアリアンロケットのように、先端技術産業が発展している。 ★貿易の自由化によって、東ヨーロッパでは、工業面で西ヨーロッパとの競争に勝てず、景気が不安定となっており、人々の生活が困窮している。 ★日本とのEPAを締結することによって、自動車産業の衰退により多くの失業者が生まれることが懸念されている。	社会面	☆欧州理事会の設置やEU法によって、安全保障に共同して対処したり、外交政策に共同して取り組んだりすることができる。 ☆地球温暖化や酸性雨などの環境問題に共同して取り組み、持続可能な社会をつくり出そうとしている。 ★共通移民政策によって、移民流入の増加に対応できなくなった結果、反移民・反EUを掲げる極右政党が欧州各国で躍進し、EUの空中分解が懸念されている。 ★EU法によって、加盟国は自主決定権がないため、移民や難民問題に対して独自に政策をたてて対処することができず、問題の解決が遅れる。	☆共通移民政策によって、移民として受け入れてもらうことで、質の高い公共サービスを受けることができる。 ☆免許などの資格や製品の基準を統一することによって、どの国でも同様の生活をするができる。 ★共通移民政策によって、移民や難民の受け入れが増加している主要国では、雇用機会が減少し、失業者数が増加している。 ★シェンゲン協定によって、人の移動が自由となり、各地でテロの発生や治安の悪化などが起こり、生活への不安が生じている。
		加盟国の立場				人々の立場								
	経済面	☆貿易の自由化によって、加盟国間での貿易の活発化や域内産業の保護が進み、結び付きが強まっている。 ☆EU拠出金によって、経済水準が低い国は負担が少ない上に、支援を受けることができ、経済が安定化しやすくなる。 ★ユーロの導入によって、ギリシャの財政赤字から広まったユーロ危機のように、一か国の問題が加盟国間に波及しやすくなる。 ★共通農業政策によって、恩恵を受けている国はフランスなどごく一部の国となっており、拠出金の負担などにより経済格差が広がっている。	☆共通農業政策の導入によって、主要農産物の域内自給が促進され、農家の所得が向上している。 ☆加盟国の企業による共同出資や技術協力によって、エアバスやアリアンロケットのように、先端技術産業が発展している。 ★貿易の自由化によって、東ヨーロッパでは、工業面で西ヨーロッパとの競争に勝てず、景気が不安定となっており、人々の生活が困窮している。 ★日本とのEPAを締結することによって、自動車産業の衰退により多くの失業者が生まれることが懸念されている。											
	社会面	☆欧州理事会の設置やEU法によって、安全保障に共同して対処したり、外交政策に共同して取り組んだりすることができる。 ☆地球温暖化や酸性雨などの環境問題に共同して取り組み、持続可能な社会をつくり出そうとしている。 ★共通移民政策によって、移民流入の増加に対応できなくなった結果、反移民・反EUを掲げる極右政党が欧州各国で躍進し、EUの空中分解が懸念されている。 ★EU法によって、加盟国は自主決定権がないため、移民や難民問題に対して独自に政策をたてて対処することができず、問題の解決が遅れる。	☆共通移民政策によって、移民として受け入れてもらうことで、質の高い公共サービスを受けることができる。 ☆免許などの資格や製品の基準を統一することによって、どの国でも同様の生活をするができる。 ★共通移民政策によって、移民や難民の受け入れが増加している主要国では、雇用機会が減少し、失業者数が増加している。 ★シェンゲン協定によって、人の移動が自由となり、各地でテロの発生や治安の悪化などが起こり、生活への不安が生じている。											
	④	「社会面」に関わるEUの各政策が、加盟国と人々に及ぼす影響について捉える。												
	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M②】【M①】													
⑤	【個々の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【拡M③】【M②】	A ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、加盟国と人々の立場ごとに整理して理解している。 ・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。 ・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	B ・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。 ・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。 ・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。											
		○発言の内容(③・④) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(④・⑤) ○「ステップチャート」の記述内容										
考えを創り上げる場【収束的思考】	⑥	【立場の討論】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば、よりよい地域統合が続けられるか」について考える。【RM①】 概念的知識「加盟国が結び付きを強めて発展するとともに、人々の生活が安定すれば、よりよい地域統合が続けられる」	集団の討論で予想される生徒の発言例 切り口B「社会面」を選んだ生徒の主張例 ・加盟国は、欧州理事会の設置やEU法によって、安全保障に共同して対処したり、外交政策に共同して取り組んだりすることで、結び付きを強めて発展することができる。人々は、免許などの資格や製品の基準を統一することによって、どの国でも同様の生活をすることができ、生活が安定する。 切り口B「社会面」の主張に対する反論例 ・欧州理事会の設置やEU法は、加盟国の自主決定権がなく足かせとなり、イギリスがEU離脱を選択するなど加盟国の発展を後退させている。 切り口B「社会面」を選んだ生徒の再反論例 ・加盟国の自主決定にはある程度の制限が加わるが、現在グローバルな問題となっている地球温暖化や酸性雨などの環境問題に対処するためには、むしろEUが共同して取り組むべき問題であり、その解決によって結び付きが強まり、発展していくと考えられる。 切り口B「社会面」を選んだ生徒の最終的な主張例 ・切り口Aは、ユーロの導入によって、ユーロ危機のように一か国の問題が加盟国間に波及しやすくなり、特に負担の多い国の不満が出るなど結び付きは弱まり発展していかない。また、人々は、貿易の自由化によって、東ヨーロッパと西ヨーロッパの経済格差が起き、経済力の弱い東ヨーロッパの人々の生活が不安定となる。それに比べ、切り口Bは、自主決定にはある程度の制限が加わるものの、グローバルな問題となっている地球温暖化や酸性雨などの環境問題に対処するために、EUが共同して問題に取り組んでおり、その解決によって結び付きが強まり発展していく。人々は、免許などの資格や製品の基準を統一することによって、どの国でも同様の生活をすることができ、生活が安定する											
	⑦	【集団の討論】 概念的知識を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを学級全体で議論する。												
	⑧	概念的知識を他の地域に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【収M①】【M③】 単元テストを行う。	A ・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。 ・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。 ・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。	B ・概念的知識を理解している。 ・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。 ・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直しながら意思決定しようとしている。										
	⑨	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【拡・収RM①】【RM②】	○発言の内容(⑧) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑥・⑦) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容									

場	時	主な学習の流れ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度												
考えをもつ場【拡散的思考】	① ②	アフリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の自然環境や産業などをまとめ、各州について大観する。	・資料を基に、各州に関わる基本的な事項をまとめ、地域の特色を踏まえながら理解している。	・追究課題について、切り口を考察し、比較した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で、追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。												
	③	各州の地域の特色を捉え、追究課題を確認する。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【 拡M① 】	・資料を基に、各州に関わる基本的な事項をまとめ、理解している。	・追究課題について、切り口を考察した上で意思決定している。	・地域の特色を捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。												
		追究課題「今後、日本と最も交流を深めていくべき州はどこか」 切り口A「アフリカ州」 切り口B「南アメリカ州」 切り口C「オセアニア州」	○発言の内容(①・②) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(③) ○「ステップチャート」の記述内容												
考えを広げる場【拡散的思考】	④	「アフリカ州」との交流が、自国と相手国に及ぼす影響についてとらえる。	交流を深めることにつながる点(☆)・つながらない点(★)														
	⑤	「南アメリカ州」との交流が、自国と相手国に及ぼす影響についてとらえる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自国(日本)の立場</th> <th>相手国(各州の国々)の立場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アフリカ州</td> <td>☆日本にはないカカオなどの商品作物やレアメタルの輸入ができる。 ☆フェアトレードにより安全で質の良い商品を購入できる。 ★内戦や犯罪発生率が高いため、日本の企業が進出しにくい。 ★商品作物を一定の国からの輸入に依存すると価格変動に対応できなくなる。</td> <td>☆フェアトレードによって適正な賃金が支払われ、生産者の生活が安定する。 ☆日本企業の進出に伴い、資金援助やインフラ整備の支援が受けられる。 ★アジア州との交流では、日本より中国とのつながりが強まっている。 ★アフリカ連合をはじめとした地域統合による発展を目指しており、日本を必要としていない。</td> </tr> <tr> <td>南アメリカ州</td> <td>☆ブラジルの工業化に伴い、自動車メーカーの進出が進んでいる。 ☆多くの日系人が住んでいて、文化的な交流も行われており、交流がしやすい。 ★リオ五輪以降は景気が低迷しており、連携による利益が見込めない。 ★都市部でもファベラが点在し、治安の悪化による危険が伴う。</td> <td>☆産油開発や製鉄所の開発に日本の企業からも出資してもらっている。 ☆日本企業の進出に伴い、雇用が確保される。 ★開発によって熱帯雨林の伐採などの環境破壊が進んでいる。 ★メルコスールなどの地域統合を進めており、日本との結び付きが少ない。</td> </tr> <tr> <td>オセアニア州</td> <td>☆時差が少なく英語圏のため、ワーキングホリデー制度を利用した交流が多い。 ☆季節が逆のため、かぼちゃなど冬場に栽培できない作物を輸入できる。 ★人口が少ない国やGDPの低い国が多く、市場としての魅力が少なく、企業進出がしにくい。 ★海面上昇などの環境問題に瀕しており、今後の交流がしにくくなる。</td> <td>☆観光業の結び付きなどが深まり、日本語を学ぶ小中学生が世界で最も多くなっている。 ☆時差が少なく、雪があまり降らないので、スキーや温泉など日本の冬のレジャーが人気。 ★かぼちゃの栽培による環境悪化が問題化し、栽培が激減している。 ★近年は中国への鉄鉱石の輸出が増加しており、日本より中国との関係が強化されている。</td> </tr> </tbody> </table>				自国(日本)の立場	相手国(各州の国々)の立場	アフリカ州	☆日本にはないカカオなどの商品作物やレアメタルの輸入ができる。 ☆フェアトレードにより安全で質の良い商品を購入できる。 ★内戦や犯罪発生率が高いため、日本の企業が進出しにくい。 ★商品作物を一定の国からの輸入に依存すると価格変動に対応できなくなる。	☆フェアトレードによって適正な賃金が支払われ、生産者の生活が安定する。 ☆日本企業の進出に伴い、資金援助やインフラ整備の支援が受けられる。 ★アジア州との交流では、日本より中国とのつながりが強まっている。 ★アフリカ連合をはじめとした地域統合による発展を目指しており、日本を必要としていない。	南アメリカ州	☆ブラジルの工業化に伴い、自動車メーカーの進出が進んでいる。 ☆多くの日系人が住んでいて、文化的な交流も行われており、交流がしやすい。 ★リオ五輪以降は景気が低迷しており、連携による利益が見込めない。 ★都市部でもファベラが点在し、治安の悪化による危険が伴う。	☆産油開発や製鉄所の開発に日本の企業からも出資してもらっている。 ☆日本企業の進出に伴い、雇用が確保される。 ★開発によって熱帯雨林の伐採などの環境破壊が進んでいる。 ★メルコスールなどの地域統合を進めており、日本との結び付きが少ない。	オセアニア州	☆時差が少なく英語圏のため、ワーキングホリデー制度を利用した交流が多い。 ☆季節が逆のため、かぼちゃなど冬場に栽培できない作物を輸入できる。 ★人口が少ない国やGDPの低い国が多く、市場としての魅力が少なく、企業進出がしにくい。 ★海面上昇などの環境問題に瀕しており、今後の交流がしにくくなる。	☆観光業の結び付きなどが深まり、日本語を学ぶ小中学生が世界で最も多くなっている。 ☆時差が少なく、雪があまり降らないので、スキーや温泉など日本の冬のレジャーが人気。 ★かぼちゃの栽培による環境悪化が問題化し、栽培が激減している。 ★近年は中国への鉄鉱石の輸出が増加しており、日本より中国との関係が強化されている。
		自国(日本)の立場	相手国(各州の国々)の立場														
	アフリカ州	☆日本にはないカカオなどの商品作物やレアメタルの輸入ができる。 ☆フェアトレードにより安全で質の良い商品を購入できる。 ★内戦や犯罪発生率が高いため、日本の企業が進出しにくい。 ★商品作物を一定の国からの輸入に依存すると価格変動に対応できなくなる。	☆フェアトレードによって適正な賃金が支払われ、生産者の生活が安定する。 ☆日本企業の進出に伴い、資金援助やインフラ整備の支援が受けられる。 ★アジア州との交流では、日本より中国とのつながりが強まっている。 ★アフリカ連合をはじめとした地域統合による発展を目指しており、日本を必要としていない。														
	南アメリカ州	☆ブラジルの工業化に伴い、自動車メーカーの進出が進んでいる。 ☆多くの日系人が住んでいて、文化的な交流も行われており、交流がしやすい。 ★リオ五輪以降は景気が低迷しており、連携による利益が見込めない。 ★都市部でもファベラが点在し、治安の悪化による危険が伴う。	☆産油開発や製鉄所の開発に日本の企業からも出資してもらっている。 ☆日本企業の進出に伴い、雇用が確保される。 ★開発によって熱帯雨林の伐採などの環境破壊が進んでいる。 ★メルコスールなどの地域統合を進めており、日本との結び付きが少ない。														
	オセアニア州	☆時差が少なく英語圏のため、ワーキングホリデー制度を利用した交流が多い。 ☆季節が逆のため、かぼちゃなど冬場に栽培できない作物を輸入できる。 ★人口が少ない国やGDPの低い国が多く、市場としての魅力が少なく、企業進出がしにくい。 ★海面上昇などの環境問題に瀕しており、今後の交流がしにくくなる。	☆観光業の結び付きなどが深まり、日本語を学ぶ小中学生が世界で最も多くなっている。 ☆時差が少なく、雪があまり降らないので、スキーや温泉など日本の冬のレジャーが人気。 ★かぼちゃの栽培による環境悪化が問題化し、栽培が激減している。 ★近年は中国への鉄鉱石の輸出が増加しており、日本より中国との関係が強化されている。														
	⑥	「オセアニア州」との交流が、自国と相手国に及ぼす影響についてとらえる。															
	⑦	意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【 拡M② 】【 M① 】															
⑧	【 個々の討論 】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、「ステップチャート」を使いながら意思決定した過程を説明し、検討する。議論の中で出された意見を基に、自分が意思決定した過程を振り返る。 意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【 拡M③ 】【 M② 】	・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について、自国と相手国の立場ごとに整理して理解している。	・追究課題について、振り分けられた立場に立って資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。													
		・切り口に関わる社会的事象が及ぼす影響について理解している。	・追究課題について、資料を基に切り口を比較した上で意思決定している。	・切り口に関わる社会的事象について捉えた上で追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。													
		○発言の内容(④～⑥) ●「ステップチャート」の記述内容	●「ステップチャート」の記述内容	○発言の内容(⑦・⑧) ○「ステップチャート」の記述内容													
考えを創り上げる場【収束的思考】	⑨	【 立場の討論 】 振り分けられた立場が異なる生徒が混在する小集団内で、複数の立場の意見を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを議論する。これまでの学習内容や本時に議論したことを振り返り、「どうすれば、国際的な交流は深まるか」について考える。【 RM① 】 概念的知識「自国の生活を向上させ、相手国からも求められる関係であれば、国際的な交流は深まる」	切り口A「アフリカ州」を選んだ生徒の主張例 ・日本にはないカカオなどの商品作物やレアメタルの輸入ができ、自国の生活を向上させることができる。日本の企業がアフリカ州に進出することで資金援助やインフラ整備などの支援が受けられるので、相手国からも求められる関係である。 切り口A「アフリカ州」の主張に対する反論例 ・アフリカ州は内戦が起こったり、生産者が不利な価格で取引され貧しい生活を送っていたりすることで、安定して貿易ができず自国の生活を向上させることができない。 切り口A「アフリカ州」を選んだ生徒の再反論例 ・アフリカ州には他にはない作物や資源があり、資金援助やインフラ整備、フェアトレードの推進をすることで貧しさからの脱却を図ることで内戦を防ぎ、安定した貿易が見込めるので自国の生活を向上させる。 切り口A「アフリカ州」を選んだ生徒の最終的な主張例 ・切り口Bは、リオ五輪以降は景気が低迷しており、連携による利益が見込めず自国の生活は向上しない。また、メルコスールなどの地域統合を進めており、日本との結び付きが少なく相手国からも求められる関係ではない。切り口Cは、人口が少ない国やGDPの低い国が多く、市場としての魅力が少ないため自国の生活は向上しない。また、近年は中国への鉄鉱石の輸出が増加しており、日本より中国との関係が強化されており相手国より求められていない。それに比べ切り口Aは、アフリカ州には他にはない作物や資源があり、資金援助などを通して有益な貿易相手として自国の生活を向上させている。また、日本の企業がアフリカ州に進出することで資金援助やインフラ整備などの支援が受けられるので、相手国からも求められる関係である。														
	⑩	【 集団の討論 】 概念的知識を踏まえて、どの切り口が最もふさわしいかを学級全体で議論する。															
	⑪	概念的知識を他の地域に当てはめて考える。意思決定した過程を「ステップチャート」にまとめ、自己評価する。【 収M① 】【 M③ 】	・概念的知識を社会的事象と結び付けて理解している。	・追究課題について、概念的知識を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとするとともに、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。												
		単元テストを行う。	・概念的知識を理解している。	・追究課題について、概念的知識の一部を踏まえて意思決定している。	・これまで学習してきたことを基に追究課題を追究しようとする、または、追究課題について意思決定した過程を見直ししながら意思決定しようとしている。												
	⑫	意思決定した過程とこれまでの学習内容を振り返り、「単元レポート」としてまとめる。【 拡・収RM① 】【 RM② 】	○発言の内容(⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○単元テスト ○「単元レポート」の記述内容	○発言の内容(⑨・⑩) ●「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容	○「ステップチャート」の記述内容 ○「単元レポート」の記述内容												